

## バスツアーで秋の長瀬・川越を満喫しました

11月9日(木)、恒例のバスツアーは長瀬と川越でした。この日は天気にも恵まれ、一行41人を乗せたバスは市役所前を出発。道の駅に寄って長瀬へ。岩畳からライン下りを楽しんだあと、長生館で郷土料理の昼食。ツアーの後半は小江戸川越で散策と買い物を楽しみ、京成津田沼へ戻って解散しました。参加者お二人の感想を紹介します。

金子あき (日本語教室部会)

今回のバスツアーに学習者の張さんと一緒に参加しました。普段の日本語教室から飛び出して、まるで校外学習に出かける小学生に戻ったような気分になりました。バスの中では、ずっと話が弾んでいました。

私も張さんも初めて長瀬、川越を訪れ、歴史などを学びあい、存分に満喫しました。お土産は、川越で見かけた小学生たちが持っていた長さ84センチの麩菓子にしました。

良い思い出になりました。来年のツアーも楽しみにしています。

張子偉 (日本語教室部会)

バスツアーは楽しかったです。天気も良かったです。暑くもなく、寒くもなく、ちょうど良い散策日和



長生館庭園で記念写真

でした。昼食の料理も美味しかったです。残さずに全部食べました。特にきのこ炊き込みご飯は最高でした。

長瀬の川下り、船に乗って、両側の景色が綺麗でした。木の色は緑、黄、赤。秋の訪れを感じました。水の流れが穏やかで、水が透き通って、川の底の石も見えました。子どもの時、家の近くの川で遊んでいた様子を思い出しました。

川越は賑やかでした、観光客も多かったです。そこでお土産を買いました。その中の一つは長い棒状の麩菓子です。子供の時、中国で食べたおやつと同じで、懐かしく思い出しました。娘たちも美味しいと喜んで食べてくれました。今回は2回目の参加でした。来年のバスツアーも参加したいです。とても楽しみにしています。



左から張さん、金子さん、山本さん親子

## 日本語教室部会の「世界を知ろう」サポートプランが鷺っ子まつりに参加しました

西脇千博 (日本語教室部会)  
Olá amigos!

11月18日(土)に鷺沼小学校で鷺っ子まつりが開催され、日本語教室部会が「世界を知ろう」サポートプランの行事で参加しました。6か国15名の日本語学習者・地域にお住いの外国の方の参加がありました。4年ぶりの開催ということもあってか大盛況の1日となりました。国ごとのブースには常に訪問者があって、子どもたちは300名、おとなは50名を超えたということで、教室が狭く感じられたほどでした。

子どもたちは、アイルランドの楽器フィドルの演奏を聴くだけでなく、ちょっと緊張してフィドルを実際に触って音を出して楽しんだり、陽気なダンスにあわせて手拍子をしてリラックスしたり、ペルー、中国、韓国、アイルラン

ド、フィリピン、ドミニカ共和国など、各国の挨拶などの言葉を教えてもらったり、中国の小学校1年生の教科書が漢字ばかりで驚いたり、ロシアの民芸品(人形)マトリョーシカを触って、並べて、感心したり、それぞれに楽しんでいました。各国のブースで学習者のサインと国旗シールをもらったあと、最後に出口で景品のあめをもらっていました。

誤解を恐れずに申しますと、この日本語教室部会の参加が、なにか「とても特別なことをしている」とは思えない雰囲気でした。真の国際交流とは、「特別ではない」と思うくらいまでに、お互いを理解できることだとも思いますので、とても有意義な一日だったと思いました。

最後に、私は今回日本語教室部会として初めての参加で、かつ準備段階ではほとんど関与できませんでした。その点では皆様にご迷惑をおかけしたのですが、そのような場合でも無理なく、参加できるような体制になっていたことも大変ありがたくて良いなと感じました。

谢谢，再见！



## ふれあい祭が晴天のもと開かれ NIAをPRしました

10月8日(日)、市役所一帯で開催された市民まつり「習志野きらっと2023」へ参加して、NIAのふれあい祭が行われました。会場の市役所駐車場に設けられたブースで、9時から16時半まで、全部で36人の会員が参加して、各部会によるさまざまな活動を展開、NIAを市民に大いにアピールしました。

### 「折り紙教室」で子どもたちと素敵な時間

乾はるみ (文化交流部会)

文化交流部会は、部会員9人がそれぞれ民族衣装を着て、朝9時から「折り紙教室」を開きました。朝早かったにもかかわらず、たくさん子どもたちが来てくれました。

かつてアメリカ人が考案したと言われる「動くハート」(Beating Heart)を始めとして、羽が動く「パタパタ鶴」(Flapping Crane)、「クリスマスツリー」、「兜」などを熱心に折りました。



子どもたちと折り紙に集中。民族衣装の会員も

国際交流協会らしく、折り紙を折りながら、子どもたちに英語の単語を発音してもらったりもしました。「だまし舟」の折り紙を持って勧誘してくれた会員のおかげで、興味を持って来てくれた子どもたちもいました。驚いたことに、折り紙12枚を使って折る「くす玉」をぜひ作りたいという男の子がいました。私たちも協力して見事完成させましたが、その根性に思わず拍手しました。中には、学校の自由時間に折り紙を折っているという女の子がいて、とても上手でした。折り紙が子どもたちの身近にあるということが、何だか嬉しく感じられました。

折り紙を完成させた子どもたちには、最後に「trick-or-treat」と言ってもらって、ささやかなお菓子のプレゼントをしました。子どもたちの笑顔に心が温くなりました。また、子どもを見守るお母様たちが国際交流協会に興味を持たれたようでした。このイベントに意味があったと感じられた瞬間でした。素敵な時間を持つことができたと思います。

## 展示の説明やクイズでテント内は満員の盛況

李華仙 (日本語教室部会)

日本語教室部会は、活動をしっかりアピールするぞという意気込みで、『日本語を学ぶ・教える・交流』をテーマに、習志野市の外国人の背景や私たちの活動内容を詳しくまとめた全20枚の資料を作り、テント内に展示しました。そしてその中から答えを探す大人と子どものクイズを展開しました。



声掛けに集まる来訪者

当日は11時に開始。呼び込み担当者の積極的な声掛けも功を奏し、気づくとあっという間にテント内は満員状態。受付、パネル説明、クイズの答え合わせ、景品とチラシ渡しと、各担当者それぞれが必死に役割をこなしました。その結果、用意していた200個あまりの景品(協会の名前入りボールペン)が13時には底をつきました。

「結構難しかった～」と笑う小学生や「習志野市はたくさん外国の人がいるんだね」とお父さん。「ボランティアは英語ができないとダメなんですよ?」との質問。(→そうではないと、きちんと説明しました)子どもたちが国旗の問題を楽しく解いている様子や花マルをもらって喜んでいる姿など、様々な反応がありました。

私たちの側も、「在住外国人の一端を知ってもらえてよかった」「子どもたちの国際理解のきっかけになったらいいな」「この狭いテントの中で大切な種まきをしているのかもしれないと思った」等の声も聞かれ、心動かされる活動となり、反省点も多々ありますが、大変充実した時間となりました。



テント内で資料を見たり説明を聞きます

## 姉妹都市交流活動のPRを行いました

金井勇樹 (NI-Youth)

「習志野きらっと2023」では、NI-Youthと国際交流部会は合同で姉妹都市交流のPR活動を行いました。

コロナ明け初めての大きなイベントということで、久しぶりのイベントにも関わらず多くのメンバーが集まり、NI-Youthからは8人のメンバーが参加しました。高校生の新メンバーも2人参加して一緒にPR活動を行いました。それを通して、姉妹都市交流事業を盛り上げたいというメンバーの思いやつながりの強さを感じました。また久しぶりに国際交流部会の人たちと活動ができ、声のかけ方や説明の仕方などで学ぶ点が多く、安心するとともに存在の大きさを感じました。

NI-Youthメンバーは、今年行われる姉妹都市タスカルーサとの青少年交流に参加する高校生を見つけるために、興味を持ってくれそうな高校生に声掛けを行い、国際交流協会の説明をしました。その結果国際交流に興味を持つ高校生が数人見つかりました。またタスカルーサ市が開催している俳句コンテストなどをきっかけに、タスカルーサ市を知っている方も見つかりました。このようなことから、広く活動することの

大切さを知って嬉しくなりました。同時にまだ活動の認知度が低いことも感じ、これからの活動により力を入れていこうと決意するきっかけになりました。

今後は青少年海外派遣事業に参加する高校生や、ホームステイに協力してもらう家庭に向けて体験談等話す機会が増えていくので、さらに精力的に活動していこうと思います。



NIAブース前でNI-Youthと国際交流部会のみなさん

## サンバパレードでコスチューム賞を受賞しました

日向洋美 (文化交流部会)



京成津田沼駅前赤の法被のNIAチーム

今年は市民まつり「習志野きらっと」30周年でした。サンバパレードの開始は4時前でしたが、準備は12時過ぎから始まりました。法被(はっぴ)、ポンポン、レイや民族衣装とスナック菓子、軽食、飲み物をNIA会議室に用意しました。何人来てくださるのでしょうか？

2時から、何組かの親子連れをはじめ次々と人が集まり始めました。皆様おやつをいただきながら打ち解けたところに、ダンスの先生のご指導で練習の始まりです。3歳から80代までの方がサンバを踊り始め、3回目になると何となく揃ってきたように見えました。

3時半に京成津田沼駅前に集合し、パレードの始まりを待ちます。前のチームは「津田沼郵便局」…なんとコスチュームは私たちとよく似た赤の法被！でも私たちはNIAの赤の法被に加えて、インド・エジプト・フィリピン・ハワイ・ネパール・浴衣などの色とりどりの民族衣装とポンポン。サンバメンバーもチリやネパール・フィリピンなどの人の参加で国際色豊かです。足並みは揃わなくても、きらびやかな衣装と笑顔で沿道の声援に応じて踊りました

踊り終えて会議室に戻った人々は、「来年は私の国の衣装を！」「楽しかった！」「来年もまた一緒に踊る！」などと旧知の友のように親しく話していました。用意したスナックがなくなったころ、「NIAチームが『コスチューム賞』受賞」の知らせが入りました。万歳！！



パレード前、NIA会議室に集合しました

## 習志野市新ALTを紹介します！ 武術とジャパ・ロック。愛の熱量がハンパない！



ヘイデンさん(左)とダンカンさん(右)

2023年8月、アメリカ・アラバマ州から、2名の新ALT（外国語指導助手）がやって来ました。ダンカン・マククレリー（Duncan McCrary）さんとヘイデン・ブルーワー（Hadyn Brewer）さん。お二人ともアラバマ大学で日本語を専攻。ダンカンさんは日本の武術、ヘイデンさんは日本のロックの大愛好家で、その情熱と造詣の深さは並みの日本人以上のようです。

### ダンカン・マククレリーさん

「2022年まで4年間、習志野市でALTをしていました。習志野市の最長ALTだそうです（笑）。1年ぶりの再来日ですが、ま

た来るなら習志野と決めていました」

「大学で日本語を専攻したのは、日本文化に興味をもっていただけです。子どものころ、父がいつもジブリの映画を見せてくれていました。高校からは日本の武術も始めました」

「私が教えを乞うているのは、『武神館』（ぶじんかん）という流派です。流山にある道場へ週2回通っていて、黒帯です。趣味と言うにはちょっとハードで、修行ですね。趣味は音楽。ギターを弾いたり、歌ったり。好きなのは、う～ん、悲しい音楽です（笑）」

### ヘイデン・ブルーワーさん

「大学での専攻は、パブリックリレーションと日本語です。中学のころ日本の音楽をすごくたくさん聞いて日本語に興味を持ち、高校時代は歌詞などを通して独学していました」

「好きなのは『ベイビーメタル』『BUCK-TICK』『LUNA SEA』。一番夢中になったのは『X JAPAN』です。「休日は、家で音楽を聞いたり、いろいろなコンサートに行ったり。レコードに興味を持っていて、アメリカで手に入れるのが難しい日本のバンドのレコードをたくさん集めることが夢です」

ダンカンさんは習志野市立第六中学校、ヘイデンさんは習志野市立第四中学校に勤務しています（11月現在）。NIAの月曜チャット（英語でのおしゃべり会）でお二人が待っています。

インタビュー：佐藤洋子（広報部会）

## ブリスベン訪問団と市内数カ所 交流を行いました

お互いの絆をより深めることができた4日間でした

旗本正巳（谷津干潟自然観察センター所長）

習志野市とオーストラリアのブリスベン市は「湿地の保全と鳥の保護に努める」ことを目的に提携をしており、毎年相互に訪問してきました。新型コロナウイルスのまん延により中止となっていたが、10月28日(土)から31日(火)までの4日間、4年ぶりにブリスベンより訪問団15名が習志野市を訪れました。

初日、セレモニーを行い、自己紹介、挨拶ののち「翼に愛を」を合唱しました。午後はボランティアとの交流で、野鳥観察やよしず体験を行い、フォトフレームの作品を協力して完成させました。

2日目はジュニアレンジャーとの交流と湿地交流フォーラムを行い、意見交換を行うことが出来ました。



谷津南小での訪問団歓迎会

3日目は谷津南小学校3、4年生との交流です。訪問団は児童の研究発表に耳を傾けていました。通訳にNIAより2名の方にご協力いただきました。

最終日は、近隣施設を巡るバスツアーを行い、最後にさよならパーティーを行いました。



### 谷津南小学校がブリスベン訪問団をお迎え！

湯浅まさ子（通訳ボランティア）

10月30日(月)、オーストラリアのブリスベンから13名の訪問団が谷津南小へやってきました。歓迎会は10時から体育館で開かれ、3年生と4年生が花のトンネルで13名の方々をお迎えしました。訪問団紹介のあと、スクリーンを使いながら、4年生は干潟について調べたことを日本語と英語で発表。3年生は、習志野市の公園や特産物を紹介。もちろんこちらも日本語と英語で。

訪問団からは、この発表のために一所懸命努力したことにとっても感銘を受けたと、異口同音の感想をいただきました。最後に、訪問団の皆さん一人ひとりに、生徒たちが描いた鳥の絵をプレゼント。訪問団の中には感激して涙している方もいらっしゃいました。

詳しい記事はホームページをご覧ください

### 【発行】

習志野市国際交流協会  
千葉県習志野市津田沼5-12-12  
サンロード津田沼6F  
〒275-0016  
Tel&Fax 047-452-2650  
<http://www.nia08.com/>  
[nia@jcom.zaq.ne.jp](mailto:nia@jcom.zaq.ne.jp)

### 【広報から】

- ◆ メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス [niasquare@jcom.zaq.ne.jp](mailto:niasquare@jcom.zaq.ne.jp) まで。
- ◆ 原稿をお寄せください  
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局または [niasquare@jcom.zaq.ne.jp](mailto:niasquare@jcom.zaq.ne.jp) へ。
- ◆ スクウェア編集部員を募集しています  
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。